

## 「授業備品」N069 H.30.9.6 「学びの視点（下記では○印）」「ホワイトボードⅢ」

子供たちが「全員活躍」の授業となるためには、どの子にも授業が分かる「学びの視点」を出すといよい。視点が示されれば、どの子も自らの考えを言語や文字で表現することができる

### ○見通し

\*算数・数学系  
㊦かっていること  
㊧かれていること  
前時の学習との㊨がい  
㊩んいは？  
㊪とめ方は？

\*社会・理科系  
㊫がついたこと  
㊬えられること  
㊭べてみたいこと  
\*資料の読み取り時

(グラフの読み取りとりの場合)  
○まずは、㊮体のみよう  
(㊯えている。㊰っている。○○が多い。○○が少ない。)  
○次に、ポイントを見よう  
(㊱化の大きい所は？ 何が㊲いか？ 何が㊳ないか？)  
○事実の理由を考えよう。  
どうして㊯えたのか？  
どうして㊰ったのか？  
どうして㊱わらないのか？  
どうして㊲いのか？  
どうして㊳ないのか？

### ○ 集団解決 (友)

\*単純意見交換

㊴ていること  
㊵なじところ  
㊶がうところ  
で分類

### ○考察 (深い学び)

\*板書やホワイトボードを見て

㊷やい ㊸んたん  
㊹いかく ㊺かりやすい  
㊻つでもつかえる  
もしくは単純意見交換後  
㊼がついたこと

### ○ 振り返り

㊽かったこと ㊾から学んだこと ㊿たにやってみみたいこと ㊿ワードを入れて書く

## ホワイトボードⅢ

ホワイトボードに表したことから、新しい発見や気づきを出し合うことに効果がある。

ホワイトボードの有効的な活用をご紹介します。ホワイトボードの特性として、①個人一人ひとりが根拠を持って考えたことを書くことができる ②プレゼンテーション力を磨くことができる ③他者の意見を比較・分類する中でお互いを「認め合う」ことができる。

今回は、ホワイトボードを班学習で出し合ったものをキーワード化し、全体で話し合う（構造化）する方法をご紹介します。まず、個人のホワイトボードを班の中で出し、練り合う中でキーワードを見つけ、数枚の短冊に書く。キーワードを黒板に貼り、それを話し合いの中でつないでいく。班から出されたキーワードは、同じものがあるので、それらは同じく束ねる。なお、キーワードを構造化する前に学習課題を再度読むようにする。

